

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6

サンコート新千葉102号

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263

発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

2011年4月10日発行 第60号 1部100円 E-mail:kidchiba@iily.ocn.ne.jp

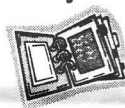
くまの房総

NPO法は二〇一〇年十二月で、成立施行の十二周年をむかえました

特定非営利活動促進法の改正に関する法案―国会で審議中―

NPO/NGOに関する税 法人制度改革連絡会

NPO法は、1998年3月19日に国会で議員立法として成立し、同年12月1日に施行されました。現在では全国で4万以上のNPO法人が認証を受けて活躍しています。NPO法人の数も増え、活動も活発になるにつれ、制定時の法律の条項では不都合な点や不十分な状況も出ています。NPO法は2003年度に、活動分野を増やすなどの改正をしました。その後、インターネットの普及や公益法人制度改革、NPO法人会計基準作成などの動きを受け、なお一層、民間活動の活性化になるよう要望書を提出し、国会で法案を改正する審議がはじまっています。



解説

【今国会では、2段階の圓期的改正が】

● 第一段階は、寄付税制改正です。 ●

これにより認定NPO法人の要件が大幅に緩和されることとなります。「3千円の寄付者が年平均均百人以上いる」などの要件を満たしさえすれば、従来より簡単に認定されることとなります。さらに、認定NPO法人等に寄付した個人に対して、税額控除制度（最大約50%）が導入されます。認定NPOに10万円寄付すると最大約5万円戻ってくる優遇措置です。この税額控除制度は、日本の寄付税制にとって、革命的といえる改革案です。

● 第二段階は、NPO法改正案です。 ●

これにより法人の認定は所轄庁（都道府県等）が行うこととなります。さらに「仮認定」というスタートアップ支援の制度も盛り込まれています。新設NPO法人でも、3年間は仮認定を受けて、税制優遇のバックアップで寄付集めができます。また、昨年、民間主導で作られた「NPO法人会計基準」に合わせた会計処理の採用が検討されています。法人名称も、「市民活動法人」へと変更することも検討項目になっています。

【「塵つぶち」の2法案】

しかし、この2つの法案は、今、危機の真ただ中にあります。第一段階の寄付税制改正は、所得税法等改正案という名称で、すでに予算関連法案の一部として、国会に提出されていて、衆議院で審議されています。予算関連法案全体が成立の目途がまったく立っていません。

第二段階のNPO法改正案は、国会情勢が厳しいため、政府は提案を断念。現在、超党派のNPO議員連盟で立法化の作業が引き継がれています。流動化する国会情勢のため、6月までの国会で成立させるのは「至難の業」と言われています。

【でも、みんないっしょに】

今のところ与野党とも反対はありません。足りないのは「推進力」なのです。NPOや世論の声が大きくなれば、優先順位が上がります。国会審議の期限は、4月末頃までが限界とみられています。ぜひ、私たちの「参加の力」で、日本のNPOの未来を切り拓きましょう！

【特例措置の延長・つなぎを求める活動】

現在、新寄付税制とNPO法改正案を早急に実現すべく国会に働きかけるとともに、3月末で期限が切れる認定NPOの特例措置の延長・つなぎを求める活動を展開しました。

【この改正によって何がかわるの？】

法人認証の期間が迅速に、定款内容や変更が簡略化します。統一した会計基準により、法人の財務状況の比較ができ、寄附をしようとする市民からは、NPOの活動実態が見えやすくなります。また、税制優遇が進めばNPOへの社会的な目は厳しくなることも考えられ、それに耐えうるNPOになることも求められていきます。

(NPO/NGOに関する税 法人制度改革連絡会
及びシースの情報から 文責中村)

毎日の活動をするだけで精一杯！事業をどのように発展させていけばいいのだろう・・・じっくり話し合う時間もとれない、とてもビジョンなど描けない！最近傍から見ると、何だか「しんどそう」に映るNPOの現状があります。そのNPOの組織課題の解決策を探る粉川一郎講座が開催されました。ワークショップあり座学あり、時には大笑いあり、核心をついた講師の話に思わずうなずく場面ありの納得のいく講座となりました。さてその気になる中身は・・・

・・・とその前に、皆さんはすでに「エクセレントNPO」なのです！

二〇一〇年に発表された「エクセレントNPO」とは、経済界や有識者などで構成された、第3者による評価で、信頼に足るお墨付きを与えようとする「言論NPO」が提唱したものです。3つの基本条件（市民性 社会変革性 組織安定性）からなっており、NPOが応募して選考の上、「エクセレントNPO宣言団体」のお墨付きを与えられるものです。このお墨付きを得るためには、信頼に足るNPOはこういう団体だ、ということとを、わかりやすく示す取り組みは必然となります。

また、こうしたお墨付きは、NPOへの信頼を後押しすることにもなります。が、一方で、強いNPOはより強く、弱いNPOはより弱くなるという状況も生みやすく、寄付市場となり、多くのNPOがその中に放り込まれる運命にあります。

NPOの組織課題解決のための講座開催

～「ズバリ！組織の悩みを解決します」～

講師：粉川一郎さん

日時：2011年2月22日（火）10:30～16:30

場所：千葉市民会館会議室

参加者：17団体63名

しかし何も心配することはありません。そもそも「善行は隠れて行へし」という価値観はNPOにはありませんし、お墨付きなどなくても、私たちは存在そのものが「エクセレント」であると気づくべきであり、いかに「エクセレント」であるかということを再確認しましょう。

さあ元気になったところで解決策を考えよう！

【解決策その1】 褒めあい、称えあおう

夢を持って、ミッションを持って活動し、乏しい資金、マンパワーの中で努力しているNPOがあります。まさにエクセレントNPOの存在です。そこに褒める点、称える点がないわけがありません。「誰か」に褒めてもらう、称えてもらう機会をつくり、受益者や、支援者や仲間同士で、そして肩書のある人や、地域の有識者に褒めてもらいましょう。社会改革を担う人々が何をしているのかわらかにして、社会的な評価を得る場面をあえてつくりましょう。これが資金獲得の第一歩となるのです。

参加者の声

- 先生に褒めてもらい勇気がでたわ！
- 自信を持つていいんだという言葉は嬉しい限り！
- 思っても口に出していなかったかも
- お花見会で早速実行

参加者の声
(ワークショップを終えて)
・会を大きくするのも、現状維持も小さくするのも活動していく内容は同じなんだ
・団体の方向性をどうするか、考えを一致させ、どう周りに見せるかが課題です

【解決策その2】 金太郎飴にさようなら、 会を大きくするか、小さくするか、 現状維持にするのか

地域は様々で状況も違います。そこでは、多種多様な取り組みがあります。少子化の中では会員減少はやむを得ません。経営規模を身の丈に合った形にしていけばよいのです。日々会員数維持に汲々とし、みんな同じ活動内容の金太郎飴ではなく、大切なのは会を「大きくする」のか「小さくする」のか、それとも「現状を維持する」のか、明確な意思を会として持つことです。ビジョンをしっかり持つことが一番！ ミッションがあり、ビジョンがあり、事業があり、そしてゴールがあります。これらが伝わる言葉にしていきましょう。

【解決策その3】

地域を徹底的に知り

ビジョンを明確にする

ビジョンを明確にするには地域のことを知らなければなりません。知っているけど頭の中にあるだけでは、素晴らしいけども共有できません。団体内でも伝わらない、団体外にも伝わらない、つまり誰も知らないのです。まず、地域のことを可視化するために、模造紙に地図を描いてみましょう。地域について知っていること、たとえば、学校の数、生徒数、公的施設、住民の構成、競合団体のことなどです。これらは単なるマーケティングリサーチに過ぎません。特別なことは必要ではなく、団体の中で共有するだけでいいのです。しかし活動の対象者について知れば活動の具体的なイメージを持つことができ、成果イメージを明確化するきっかけになります。自分たちの活動が届いていないところはどこだ?これが次のステップを考えるきっかけとなるのです。

参加者の声

・さっそく白地図を作ってみよう
・地域資源マップ作りをやってみよう



【解決策その4】

人の入れ替わりで

組織の新陳代謝を

お肌のケアと同じように組織のケアもしていきましょう。NPOという組織を常に若々しく、みずみずしくするのは人の入れ替わりです。必ずしも若い人という意味ではありません。違う分野からの理事就任もいいでしょう。

【解決策その5】

ミッション実現のためには

サービスよりも当事者づくり

NPOがミッションを果たすために大切なことは事業やサービスを提供することだけではなく、その成果として、当事者が増えることをゴールとしましょう。当事者とはその団体が解決したい地域課題を自分のことと捉え、団体のミッションに賛同し、ともに汗を流してくれるかもしれない人材です。NPOは事業やサービスを提供することだけを目的としてはいけません。それらを通じて、当事者としての意識を持つ人を増やすことが大切です

【解決策その6】

団体の力を測る指標は

どれだけのつながりをつくれたか

自分たちの団体が今、どういうつながりを持っているかを評価しましょう。支援者、受益者、他団体、協力者、行政等、これらをどう維持していくか、どう広げていくか、どう変化させていくか、去年と今年、今年と来年、それがどう変わっていくか、これが自分たちの団体が「エクスレントNPO」であるかどうかを判断する基準となります。団体の収入規模やサービスの提供数、会員数ではない団体の力を測る指標となります。理事会や総会でそれを議論する場を必ず設けていく事が大切です。
ソーシャルキャピタル(社会関係性資本)をベースにした団体価値評価という考え方があり、ゆるやかなつながりは問題解決能力を向上させます。どれだけのつながりを増やしたかで成果を計測するというものです。

参加者の声

・これまでも意識して会員を巻き込んでいたが、これからはもっと関わっていただける方をしたい

【解決策その7】

情報公開

情報を発信する努力をしましょう。発信さえしておけば、誰かが見るチャンスに常に担保しておくことができます。ホームページ、ツイッター、フェイスブックなど、その団体に人がいて、頑張っていることが伝わればいい。団体の新陳代謝に寄与することは間違いありません。

(文責：綿貫)

【プロフィール】講師：粉川一郎

一九七一年神戸生まれ。筑波大学大学院修士課程環境科学研究科修了後、三重県生活都市民プロデューサー等を経て、現在特定非営利活動法人コミュニティ・シンクタンク「評価みえ」理事・上席主任研究員、文部科学省熟議力ケアイサイト運営委員会委員長、武蔵大学社会学部メディア社会学科准教授、千葉県四街道市在住

粉川講座に続く講座第2弾!

～明確なビジョンをもてるように～
子ども文化地域コーディネーター養成講座

日時：2011年4月25日(月)

10:00～16:00

場所：千葉市民会館 特別会議室2

参加費：ひとり1,500円

対象：役員、サークル長

(地域活動の担当者)など

第1部「地域の活動を豊かにする

子ども文化地域コーディネーターとは」

講師 中川幾郎氏

第2部「子どもアートステージファンド」

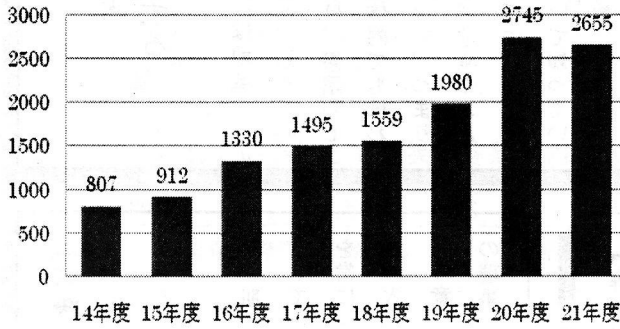
成果報告会

“おせっかいかしら？”なんてためらわないで、

子ども、子育て家庭に一言を！

千葉県子育て施策情報・データと担当者へのヒアリングから、求められることをよみとる

資料1 児童相談所における児童虐待相談対応件数の推移
(千葉県・千葉市)



児童相談所における児童虐待相談件数が年を追うごとに増えています。22年度から県、市町村に「要保護児童対策協議会」が設置され、虐待の未然防止と、起きた場合の素早い相談などのために、情報が行政、民間で一步踏み込んで共有されることが始まりました。チャイルドライン、ママ・パパラインを開設している子ども劇場千葉県センターも「千葉県要保護対策協議会」に参加しています。未然防止のためには、地域の人々みんなの温かいまなざしの声かけが必要なことがみえています。



☆近隣・知人、虐待者以外の家族からの相談が増えている。また、学校の先生方の関わりの中から見えること

予防や早期発見には、地域の関心や日常の関わり、まなざしの大切さが必要なことがわかります。「要保護児童対策協議会」には、幼稚園、小・中・高校の代表も参加しています。今年度は教育庁、指導課が「児童虐待への対応に関する調査」を実施、その結果が年度末に発表されました。その結果、各校からされた、虐待の通告件数も19年度100件→20年度189件→21年度370件と増加しています。発見の契機は、担任や養護教諭が普段の関わりや観察に努めた結果発見できた、が最も多くなっています。

☆相談しやすい環境・体制づくりが求められている
学校の先生に続いて多いのは、父母以外の保護者、子ども本人からの相談です。保護者・子どもへの意識啓発として有効とされていることは、家庭教育学級でのDV予防のような専門家の講座、CAPなどもプログラムなどで、小学校で特に有効と書かれています。今後検討していることとしては、「命の大切さや人権について理解させること」「子どもに安心や自信をもたらす、自己肯定感を確立させること」があげられています。

☆「子どもの権利ノート」をすべての親子の手に (資料2)

「子どもの権利ノート」は次世代育成支援行動計画が生み出した「子どもが大切にされる千葉県をつくるための指針」(二〇〇九年)を柱につくられています。虐待の通告、相談の後の経過は9割が面接指導で、その経過の中で、「家庭との連絡がとれない、協力が得られない」「しつこいと言いつつ張り」など、短期間で解決しないものが多いとの悩みの声が多く聞かれます。このことから、施設の子どものみだけでなく、相談対象の家庭だけでもなく、すべての家庭に「当たり前」としてこういう子どもも観が共有されるべきではないでしょうか。

資料1と千葉県児童家庭課へのききとりによると

- ◆21年度は減少したが、22年度は2月現在、若干増加しているため、年度末に増加の予測。
- ◇義務づけられている要保護児童対策協議会の設置状況は、54市町村中48市町村(89%)である。
- ◆被虐待児の年齢は、乳幼児(40%)小学生(37%)中学生(16%)高校生(7%)で、小学生以下が約8割を占める。
- ◇相談経路は、最も多いのが警察等(27%)続いて市町村(16%)近隣・知人(16%)県(13%)虐待児以外の家族(9%)で、近隣・知人、虐待児以外の家族が20年度比で増えている。
- ◆対応としては、面接指導が最も多い(91%)。施設入所した児童は164人(7%)で、20年度123人(5%)から増えている。

資料2 「子どもの権利ノート」より抜粋

子どもたちへ伝えたいこと

あなたはかけがえない人間として誕生しました。あなたは、1人の人間として尊ばれ、認められ、愛されます。いつでもどこでもどんな状況でも、安全に安心して暮らしながら成長していきます。すべての人がその人らしく幸福に生き、お互いの意見や気持ちを大切にしながら家庭・学校・地域を共につくっていくためには、子どもも大人も一緒に充分話し合っていくことが必要です。そして、子どもと大人は力を合わせ、この社会をつくっていきます。

そこで、次のことが大切にされます。

- 1 生きること (生存) 2 守られること (保護)
3 育つこと (発達・成長) 4 参加すること (参画)

県は、施設や、里親さんの元や、一時保護所で育つ子どもたちに「子どもの権利ノート」を作成、配布しました。年齢の異なる、ひとりひとりの子どもたちが理解できるように、心に届くように、丁寧な伝え方が求められています。

資料3 児童虐待未然防止のための養育支援サービスのありかたに関する調査 (21年3月 千葉県児童家庭課HPより)

- ① 専業主婦のニーズに焦点をあてた子育て支援サービスの拡充
 - ② 情報の効果的提供への対応策を検討する
- この二つの目的で、1歳6カ月の子どもをもつ保護者を対象にした、県内8市町村、867人からのアンケート結果とインタビューの結果から引用

子育てで困った経験のエピソードの内容		件数
A	母親自身の病気や体調不良 自分の体調が優れない時にも、育児をする必要があること、そのことにより回復が遅れること 家中で病気にかかったこと うち、妊娠期の困難 (5件)	115件
B	通院や入院に関すること	34件
C	病児・病後児保育が必要	27件
D	子どもを連れて行けない場所へ行く時の苦勞	25件
E	一時保育が利用できない	21件
F	産後のサポートが必要だった	19件
G	子どもの病気、事故、入院	16件
H	育児全般 (子どもの泣きやぐずりへの対応など)	14件
I	移動の困難・設備	12件
J	サポートしてくれる人の必要性	9件
K	育児疲れ、育児ストレス	6件
L	育児に協力的ではない父親への不満	5件
M	居場所・親子で行ける場所の必要性	3件
N	その他	11件
O	常に助けてくれる人がいて、問題がない	29件

ママパパラインにはこんな電話が

***子どものしつけ**

- ・子どもが泣いてばかりいて育てにくく、憎らしく思うようになった。

***人間関係**

- ・ママ友とのメールによる気持ちのいきちがいを感じて、仲間に入りづらくなってしまった。
- ・出産後、夫や姑とトラブルがあり、気持ちが不安定になっている。
- ・うつ病で、夫との関係がうまくいかなかった。第二子が生まれるのに、責められてつらい。
- ・両親が離婚していて、頼る人がいない。

***自分自身のこと**

- ・みんな同じことをちゃんとやっているのに自分はできない。子どもに申し訳ない。

ママパパラインは、毎週金曜日 13:00~16:00 開設しています。 043-204-9390

★誰でも行きやすいところに情報を！(資料3)
調査では、子どもを連れて外出することに積極的な人は約半分、後の半分は「子どもを連れて外出するのは大変」「行ったことがない所へ行きにくい」などが理由で外出には積極的ではない。「子どもを預けたい」と思ったこと、相談やサポートがほしいと思っただことがある」とニーズはある一方で「知らない人に子どもを預けたくない」「不安もあるようです。」「子どもは保護者だけで育てるのではなく、色々な人との関わりの中で育つ」ことの情報を、だれもが手に入る方法で知らせていくこと、特に一歳までの情報提供に工夫が求められています。

★私たちの子育て応援ダイヤル「ママパパライン」
もあの手この手で子育て中の人たちに情報を！
小児科医、歯科医の待合室にポスター掲示、乳児検診時にカード配布、行政の子育て情報誌に掲載をお願いするなど、情報提供に努めています。今後は、紙ベースだけでなく、インターネットやケータイへの情報提供も検討課題にしています。

一市民である私にもできる事がある～東上総児童相談所を訪ねて担当者にきく～

☀️ **まずはアンテナを立て、地域の子どもたちのようすに気を配ること**

◎隣近所との繋がりを持ち、積極的にコミュニケーションをとるよう心がける→お節介おばさんになる。

- ・顔みしりになり、話ができるようになれば、心配な事なども直接訊ねる事ができ、育児等の悩みも聴いてあげられるようになる。



- ・虐待などの行為につながるような問題も、その前に解決できるようになる。
- ・一人で子育てしているのではないと、安心感を持てるようになる。
- ・子ども達は、自分を気にかけてくれる大人がいると知ることによって自己肯定感を持てるようになる。

☀️ **そのような関係が築けず、気にかかる様子があった場合は、すぐに関係機関に連絡 (通告) する**
⇒行政の担当課・保健センター・児童相談所・警察など (24時間以内に確認を取る事になっている)

※連絡 (通告) をする場合の注意点

- ・憶測や自分の思い込みで判断して連絡 (通告) しない。→ 事実を確認して連絡 (通告) する。

(白鳥みゆき記)



長期入院の子どもが笑顔になる生の舞台のプレゼント&プログラム開発と人材養成事業



「タケダ・ウェルビーイング・プログラム」は、長期にわたり病気療養する子どもとその家族をサポートする市民活動を応援するために2009年度に創設されました。病気と闘う子どもたちとその家族の心理的・文化的・社会的な生活の質を向上させ、「生きる力」につながるような取り組みを進めていくことを趣旨とした助成です。2010年度は、4団体への助成が行われ、子ども劇場千葉県センターの「長期入院の子どもが笑顔になる生の舞台のプレゼント&プログラム開発と人材養成事業」も、うち1団体として選ばれました。長期入院を経験した当事者(親)や小児科医、劇団関係者、千葉県センター理事による「推進プロジェクト委員会」を組み実施しています。



①「長期入院している子どもに笑顔を贈る舞台公演」事業の実施(5病院実施予定)

NO	実施予定病院	予定時期	ヒアリングによる希望作品・希望内容
1	国立国際医療研究センター国府台病院	5月	びりとブッチイのクラウンシアター 院内学級で授業時間を活用したワークショップ
2	千葉大学附属病院	夏休み	ナメちゃんのパネルシアターコンサート 親子でできるワークショップ
3	千葉県こども病院	夏休み	ナメちゃんのパネルシアターコンサート 親子 または子ども向けワークショップ
4	独立行政法人国立病院機構 下志津病院	未定	小児科病棟で公演 工作教室等
5	独立行政法人国立病院機構 千葉東病院	未定	未定

② プログラムの開発

プログラム開発チームにより、プロのパフォーマープログラムを開発しています。また、年一回でない日常性をつくるために、セミプロによるプログラムを含めた地域資源を活用したプログラムの開発もしています。

③ コーディネーターの育成

支援の継続や拡がりを図るためには、病院と劇団、病院と地域をつなぐコーディネーターの存在が不可欠です。地域の人材を発掘し、研修会や学習会を通じ専門性をもった志の高いコーディネーターを養成しています。

「タケダ・ウェルビーイング HP」より

子ども劇場千葉県センターに届いたメッセージです。

MESSAGE

- *毎日暇なのでとてもうれしい
- *感動した
- *生で見えてすごい!の連続だった
- *このような活動に感謝します
- *病気に負けない力を生み出してくれる
- *子どもらしさを取り戻して生き生きと



子どもの舞台芸術体験ひろば2011 inちば (子どもゆめ基金助成申請中)

近年特に「子どもの自己肯定感」が低くなってきていることを、活動を通じて実感するようになりました。その要因のひとつとして、子どもの体験不足と、他者とのコミュニケーションにより自分に自信を持つ機会や、信頼関係づくりを体感して学ぶ機会が少ないこと、伸び伸びと安心して自分を表現し心から楽しむ場が少ないことがあります。プロを講師に芸術を活用したこの体験活動で、子どもの心を開き、可能性を広げ、子どもの自主性や社会性を育み、ワクワクドキドキする1日とすることを目的に、県内3箇所で開催します。

<事業の実施場所>

- ① 千葉県文化会館
2011年8月25日(木)
- ② 千葉市子ども交流館
2011年11月23日(水・祝)予定
- ③ 流山市生涯学習センター
2012年2月5日(日)

<実施体制：子どもの舞台芸術体験プロジェクト>

子どもの成長発達やまちづくりの視点を持ち、子どもの舞台芸術の推進をしてくださる団体・個人で構成します。千葉市及び流山市とその周辺で各10名(行政の方を含む) 子ども劇場千葉県センター10名

<プログラム企画>

プロの劇団による作品が11企画提案されています。開催地のニーズと希望により、4~5企画を選びます。

「MY RIGHTS (私の権利) を子どもたちに」



シンガーソングライター 橋本のぶよ

私は「子どもの権利条約」にメロディーをつけて歌っています。「MY RIGHTS (私の権利)・・・スウェーデンを訪問した教育関係の方からいただいたブックレットです。「子どもの権利条約」が簡単な英語と可愛い絵でつづられています。当時はまだ幼かった我が子をひざに抱え、何度も何度もページをめくったものです。そして自然にメロディーが湧いてきました。さっそくレコーディングをとスウェーデンのNGO事務局に連絡を入れたところ大変喜ばれ、「ぜひ日本の皆さんに広めてください」と快く承諾していただきました。

スウェーデンには「子どもは社会の宝」という諺があります。子どもを大切にすることは老人にとっても、女性にとっても皆が暮らしやすい国ということになります。私たち日本の大人も、子どもをとっても可愛がりますが、社会の一員として認め尊重するということになるとまだまだというのが現状ではないでしょうか。でも少しずつですが、いろんな所で子どもの権利を花咲かせようがんばっている人々が増えてきています。

先日、歌わせていただいた千葉県内の子ども劇場の皆さんもそうです。チャリティーコンサートで歌った私の「MY RIGHTS」の一節一節に“そうだ…そうだ…”とエールを送ってくれていました。子どもたちのために様々な事に取り組み、千葉の仲間の輪を広げてゆこうとがんばる皆さんの姿に心打たれました。こんな大人たちに見守られて育つ子どもたちは本当に幸せですね・・・。

子育て真っ最中の親と子育てを終えた親、そして若い人達が集まって子どもたちと一緒に楽しくワイワイやっついていく…きっとたくさん笑顔が見られるでしょうね。そんな千葉県センターのこれからの取り組みを楽しみにしております。子どもが何の不安もなく笑いころげて子どもらしく毎日を生きてゆけるよう、私たち大人はもっともっと心を、力を合わせていきたいですね。



「NPO法人格をとって10年」

NPOではたらく人

NPO法人 緑区子どもサポートセンター 事務局長 安藤弘美



緑区子どもサポートセンターの前身である任意団体「千葉なかよしおやこ劇場」で7年。NPO法人になった「緑区子どもサポートセンター」で事務局長を務め10年がたとうとしています。当時、演劇鑑賞をやめることも重なり、NPO法人になることへの反対はとて強く3回目の総会でやっと承認されたという状態でした。「NPO法人になって10年間は私が頑張るから、認めてほしい！」何度もこの言葉を言った記憶があります。でもこのことを言うたびに心のどこかで「10年間は収入が見込めない」という思いが頭をよぎりました。年が近く生れた我が家の3人の子どもが大学に入る時期が目の前に迫っていました。マンションのローンもあり、我が家の経済状況が一番切迫する時期でした。

10年がたち、子どもたちもやっと皆卒業しましたが、この間、お金のことで夫婦の意見が異なると必ず「だったら、お前も働けばいいじゃないか！」の一言でいつも決着がつかしました。これがNPOで働くということの現実なんだ。といつもいつも思いました。

NPO法人になり3年半がたった頃、それまでやっていた活動が認められ、市から子育て支援のひろばの委託を受けることができました。これまで全てボランティアでしていた事業に人件費を確保することで、保育士・幼稚園教諭・栄養士・看護師など専門性のあるスタッフが継続的にかかわってくれるようになりました。年間のべ2万人以上のお母さんや子どもたちが集うようになりました。少し発達が気になるお子さんやサポートを本当に必要とするお母さんにも寄り添うことができるようになったことは、会員制でやっていた任意団体の頃と大きく違う点です。心理士・小児科医・歯科医・保健センターなど多くの専門家の方とも繋がるのが可能になり、人件費の確保が事業の質を本当に高くすることを実感しています。これからの10年間は次世代の人たちが本当の意味でのNPOで働けるような基盤を作ることだと思っています。



子どもを真ん中に・ミラクルパワー全開

「なりDANフェスティバル」実行委員長 佐藤恭子（NPO法人子どもプラザ成田 副理事長）

子どもプラザ成田では2010年12月23日「タップドゥ」鑑賞会と一緒に成田国際文化会館を一日借り切り、「なりDANフェスティバル」と銘打ち三部構成の子どもも大人も一日に楽しもうというお祭りをしました。第一部を「ミラクルタイム」と銘打ち、地区の5グループと高学年会員のサークル、市内の3つの他団体が大ホールの舞台上で発表会をしました。総参加者数290人（内子ども180人）で笑顔と感動がいっぱいの発表会となりました。



「ミラクルタイム」では、子どもたちと一緒に大ホールの舞台上で発表会をする大人たちは「本当に出るのかなあー?」「だいじょうぶ?」「キチンと形にしなきゃ…」と不安でやきもきし、子どもたちも皆が皆、乗り気だった訳ではなかったと思います。でもどのグループも何度も顔をあわせ話し合っただけで子どもたちが曲や衣装を決め、大きい子がリーダーとなって練習を始め、子どもたちに任せてみたら、実に楽しそう。みな乗り気になって「今度はこうしよう!」「もう一回踊ろうよ」「こういう衣装にする!」「こんな振り付けはどう?」という声があがってきました。「ミラクルタイム」が大人の手から子どもの手へと移ったときから子どもたちのしなやかな発想が芽吹き、生き生きと動き出しました。

今まで関わりが少なかった子どもたちが、練習に参加するたびに積極的になり、意見を交わしながら教えあったり、衣装や小道具を作る姿があちらこちらのグループで見られる様になりました。

とは言っても練習に集まる人が少なかったり、どうしても大人主導になってしまったり…山あり谷ありでしたが、そこを乗り切ったのも子どもたちの力でした。自分たちはこういう風にやってみたいと、思いや考え、やりたいこと、意見を子ども同士や大人に表明してきたのです。

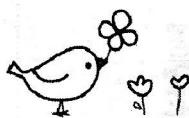
予定通りに進まず気持ちも落ち込んで出場することすら危うくなったグループで、中三のお兄さんの一言。「ちゃんとしてないかもしれないけど、何とか出場できる方法を考えることはできないのですか?」…それはまぎれもない子どもから大人への意見でした。その時「きちんとした」「ちゃんとした」という目線で接しがちだった大人の私たちこそ何なのだろう?…と立ち止まって考えさせられました。大人たちはゼロか百で考えてしまいがちだけど子どもって柔軟だなあ、すごいなあと思いました。

当日は中高生も積極的に地区の発表にも参加して大いに盛り上がり、会場は大きな拍手に包まれました。他団体のダンスに感動したり、切れのあるヒップホップに憧れたりといつものは出会わない子ども同士の出会いの場にもなりました。

舞台の上の子どもたちの顔、終わった後の顔、とてもステキな表情だったので、「やってよかった」とみんな思ってくれたと思います。子どもたちは、最初のうちは「いやだな」「しょうがないな」と思いながらも途中から「なかなか楽しいかも」とちょっぴりやる気が出てきたり、それぞれの思いを抱きながら創りあげました。この舞台に立ったことが貴重な経験となり、次の「やる気」に繋がっていくのだと思いました。

編集後記

3月11日未曾有の大災害が起こり多くの方々被災されました。一瞬にして今まで当たり前だったことがかき消され、深い喪失感の中にいる子どもたちに、私たち大人はどう手を差し伸べ、どうしたらこの悲しみ、理不尽なやり場のない憤りや虚しさを受け止められるのでしょうか。絆、つながりという言葉があちらこちらで聞こえます。今私たちの出来る事を精一杯真摯に行うことがつながりの始まりだと思います。明けぬ夜はない事を信じて子どもたちの明日のために。(滝口)



舞台 なま情報

- 県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください
- 下見等については千葉県内の申し合わせ
 - ・役員の下見は5名まで無料
 - ・その子どもは1人1,000円
 - ・その他は1人2,000円
(子ども、おとな同額)

第60号別冊 <2011年5月~7月>

舞台劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◇ 劇団たんぼぼ	100万回生きたねこ	5/14	14:00	市川市行徳文化ホール1&2	市川行徳	幼児~大人
◇ 楽劇団いちよう座	リーダーシアター	7/2	15:00	佐倉市下志津小学校	佐倉	幼児~小学生
◇ しし丸カンパニー	OH! ベイビー	7/16	未定	市川市内	市川中央	小学生以上

人形劇・影絵劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
☆ 人形劇団夢知遊座	モリエール人形芝居	5/7	16:00	千葉市美浜文化ホール	千葉西	高学年
☆ ひと組	さんさん劇場	5/22	14:30	佐倉市志津コミュニティセンター	佐倉	幼児~小学3年
☆ はぐはぐ☆カンパニー	月ウサギとまっくろ大王	6/12	未定	イオン稲毛文化ホール	千葉中央	幼児・大人
☆ 人形劇団むすび座	おまえうまそうだな ねずみのすもう	6/25	13:00	船橋市西部公民館講堂	船橋	幼児~小学3年
☆ 劇団員の火	さるかに合戦	6/26	14:00	八千代市総合生涯学習プラザ	八千代	幼児
☆ 人形劇団むすび座	おまえうまそうだな ねずみのすもう	7/2	未定	イオン稲毛文化ホール	千葉北	幼児
☆ 劇団かかし座	みなみのうみのおとぎばなし	7/3	未定	市川市文化会館	市川行徳	全学年
☆ 人形劇団プーク	三びきのやぎのがらがらどん	7/18	未定	習志野市民会館	ならしの	幼児~小学低学年

音楽

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
♪ ともしび音楽企画	ナメちゃんのあったかわいらいライブ	5/27	10:30	成田市玉造公民館	成田	乳幼児
♪ クロスミュージック	ストローミュージック&リコーダー	7/9	14:00	市川市文化会館大会議室	市川北	幼児~大人

芸能・他

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◎ クラウンファミリープレジャーB	ぼこぼこつづのほのぼの劇場	5/15	14:00	市川市文化会館大会議室	市川中央	幼児~大人
◎ 民族歌舞団荒馬座	囃そう踊ろう芸能ひろば	5/22	14:00	イオン稲毛文化ホール	千葉中央	小1~小3・大人
◎ TAP DO!	タップダンス・エンターテイメントショー	5/28	19:00	船橋市宮本公民館ホール	船橋	小4~大人
◎ マジックファクトリー	アンディ先生のストリートマジックfor地域公演	6/4	14:00	市川市勤労福祉センター	市川北	幼児~大人
◎ こまのたけちゃん	こまのたけちゃんのおそぶあそび!	6/5	14:00	四街道市和良比小体育館	四街道	幼児~大人
◎ 柳家千寿	柳家千寿子ども寄席	6/12	14:30	松戸市民劇場	松戸	小学生~大人
◎ 柳家千寿	柳家千寿子ども寄席	6/12	17:00	松戸市民劇場	松戸	中学生以上
◎ オフィス・パパン	神田香織の立体談話「新版はだしのゲン」	7/9	14:00 18:30	八千代市勝田台文化センター	八千代	高学年
◎ むごん劇かんばんにい	ムーラの一人サーカス	7/16	未定	成田市内公民館	成田	幼児以上
◎ こまのたけちゃん	こまのたけちゃんのおそぶあそび!	7/10	15:00	船橋市内公民館	船橋	全学年
◎ 民族歌舞団荒馬座	びーひやらどん	7/11	11:00	八千代市勝田台文化センター	八千代	乳幼児
◎ 松元ヒロ	松元ヒロ・ソロライブ	7/18	18:00	市川市内	市川北	中学生~大人
◎ 蒼い企画	びりとブッチーのクラウニングシアター	7/18	未定	浦安市民プラザWave101	浦安	幼児~大人

きらきらわくわく情報

2011年5月～7月

活動	日程	場所	主催団体
2歳児から未就園児の親子ふれあい体験あそびActive Kids	5/1・25.6/9・23.7/2・14	千葉北おやこみるあそぶ会事務所近	千葉北
こっちゃんリヤカー	5/2.6/6.7/4	佐倉市お伊勢公園	佐倉
お母さんの居場所「こーひーかつぶ」	5/2・16.6/6・20.7/4・18	市川市菅野公民館 他	市川北
未就園児と親のワークショップ おやこリズム体操	5/6・12・20・26	千葉市文化センター第2リハーサル室	千葉中央
乳幼児とお母さんのたまり場「たまごキッズ」	5/6・13・20・27	四街道地区コミュニティーセンター	四街道
お母さんのエアロビクラブ「シェイク」	5/6・20.6/3・17.7/1・15	市川市曾谷公民館	市川北
幼児サークル どんぐり	5/9・16・23	八街市営キャンプ場	やちまた
未就園児とママの遊びあい「ブレンジ」月曜コース	5/9・23.6/13・27.7/11・25	市川市東部公民館	市川北
幼児サークル わくわくキッズ	5/10・24.6/7.7/5・12	市川市勤労福祉センター	市川中央
幼児サークル クレヨンクラブ火曜日コース	5/10・24.6/7・21.7/12	市川市行徳駅前公園研修室	市川行徳
お母さんの居場所「ぶらっとhome」	5/11・18・25.6/1・8・15・22・29.7/6・13・20・27	市川市大野地域ふれあい館	市川北
てあそびうたと親子体操	5/11・25.6/8・22.7/13・27	習志野市内公民館	ならしの
幼児サークル のびのびキッズ玉造	5/12	成田市玉造公民館	成田
幼児サークル どんぐりくらぶ	5/12・24・31.6/7・28.7/5・14	白井市内公園・公民館	白井
幼児サークル ぴよんぴよん うさぎ	5/12・26.6/9・30.7/14	市川市信篤公民館	市川中央
乳幼児親子ワーク ミニぴよんぴよん	5/12・26.6/9・23	村上アース・メイト	八千代
幼児サークル クレヨンクラブ木曜日コース	5/12・26.6/9・23.7/14	市川市行徳公民館	市川行徳
幼児サークル のびのびキッズ福祉館	5/13	成田市保健福祉館	成田
幼児サークル わいわいキッズ	5/13・27.6/10.7/8・22	市川駅南公民館	市川中央
未就園児とママの遊びあい「ブレンジ」金曜コース	5/13・27.6/10・24.7/8・22	市川市曾谷公民館	市川北
幼児サークル ほけっと	5/16.6/20.7/11	佐倉市臼井公民館	佐倉
幼児サークル のびのびキッズ江井須	5/17	成田市江井須区民館	成田
おやこの広場・るーぶる	5/18.6/1・15.7/6・20	松戸市柿木台公園体育館	松戸
幼児とお母さんのほっとスペース はっぴいすぺーす	5/19.6/2・16.7/7・21.7/2・21	千葉北おやこみるあそぶ会事務所近	千葉北
幼児サークル ぴよんぴよん かえる	5/19.6/2・16.7/7・21	市川駅南公民館	市川中央
乳幼児とお母さんのための体験と交流のひろば「フレッシュカ」	5/31	袖ヶ浦市長浦公民館	袖ヶ浦
未就園児と親のワークショップ おやこリズム体操	6/3・9・17・23.7/1・7	千葉市文化センター第2リハーサル室	千葉中央
乳幼児とお母さんのたまり場「たまごキッズ」	6/3・10・17・24	四街道地区コミュニティーセンター	四街道
幼児サークル「ぶらんこ」	6/3・17・24	流山市内公民館	流山
幼児親子ワークショップ ぴよんぴよん	6/8・22.7/6	村上アース・メイト	八千代
乳幼児とお母さんのたまり場「たまごキッズ」	7/1・8・15・22	四街道地区コミュニティーセンター	四街道
乳幼児とお母さんのための体験と交流のひろばコンサート	7/10	袖ヶ浦市平岡公民館	袖ヶ浦
つみ木であそぼう	未定	印西市内公民館	いんざい
乳幼児親子向け絵本のあるスペース「絵本の森」	未定	千葉市美浜区社会福祉センター	千葉西
子育てひろば「こどもっと」	毎週木	松戸 天神庵	松戸
子育て支援 ぶらっとたまり場 はっぴのおうち	毎週火・水	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba
おしゃべりほっとスペース(きらきらひろば)	第3金	市川市信篤公民館	市川中央

乳幼児の活動



	活動	日程	場所	主催団体
いろいろ体験活動	▪ 放課後子ども教室「出会い体験夢ひろば」	5/6・11・13・18・20・25・27	四街道地区コミュニティセンター	四街道
	▪ そーらん自主練習	5/7・21.6/3・17.7/1・15	四街道千代田公民館	四街道
	▪ こどもまつり2011～からだであそぼう～	5/8	八千代市大和田西小学校	八千代
	▪ そーらん自主練習	5/14・28.6/11・25.7/9・23	四街道南小学校	四街道
	▪ およこまつり	5/22	八街市営キャンプ場	やちまた
	▪ 月例体験活動Sun2Go2あそぼうズ	5/29・6/26	若葉区山崎さんちの空き地	Wakaba
	▪ 放課後子ども教室「出会い体験夢ひろば」	6/1・3・8・10・15・17・22・24・29	四街道地区コミュニティセンター	四街道
	▪ 村田川源流探検	6/4	千葉市緑区越智町	緑区子どもS・C
	▪ 体験活動あそびつく ダンボールあそび	6/15	白井市内小学校体育館	白井
	▪ バスハイク	6/15	銚子	いんざい
	▪ プレーパーク	6/19.7/10	八街市営キャンプ場	やちまた
	▪ 放課後子ども教室「出会い体験夢ひろば」	7/1・6・8・13・15・20・22・27・29	四街道地区コミュニティセンター	四街道
	▪ クラフト飛行機を作って飛ばそう	7/2	野田市岩木小学校校庭	野田
	▪ 自分で作ろう！手作りおもちゃ	7/2	千葉市おゆみの公民館	緑区子どもS・C
	▪ 月例体験活動 流しそうめん&竹細工	7/23	若葉区山崎さんちの空き地	Wakaba
	▪ 親子体験 お泊まり会	7/23～24	あすなろの里	野田
	▪ 全体キャンプ	7/23～24	八街市営キャンプ場	やちまた
	▪ TAP DO! タップダンスワークショップ	7/25	勝田台文化センター	八千代
	▪ 親子キャンプ 原始村キャンプ場	7/29～31	原始村キャンプ場	市川行徳
	▪ くぎうちトントン	7月末	流山市内公民館	流山
▪ ほたる観賞	7/末	大町自然観察園	佐倉	
▪ 公園での遊び支援”放課後どきどきユニット”	毎週月	千葉市西都賀第一公園	Wakaba	
講演会・学習会	▪ 山田とうし「パントマイムワークショップ」	6/5	千葉市美浜区内	千葉西
	▪ 太宰久夫さん講演会	6/12	佐倉市美術館ホール	佐倉
	▪ いちよう座ワーク輝け!船橋の子どもたち	6/19	佐倉市内	佐倉
高学年の活動	▪ あそぶ会	5/15	流山市総合運動公園	流山
	▪ 中高青年サークル 梅雨交流会	6/18～19	佐倉市草ぶえの丘	白井
	▪ 高学年キャンプ	7/29～31	原始村キャンプ場	市川行徳



子どもと文化 イベント情報

◆ 演劇鑑賞会 劇団たんぽぽ公演

「100万回生きたねこ」

5月14日(土) 開演14:00

場所:市川市行徳文化ホール&I

料金:2,500円(4歳以上)

主催/市川子ども文化ステーション行徳地区

Tel. 047-395-7670

◆ 東日本大震災チャリティ公演

「タッパダンソインタータイムトソー」

5月28日(土) 開演19:00

場所:船橋市宮本公民館

料金:大人2,000円、小4~高校生1,500円

収益の一部を震災義援金にします

主催/(特)船橋子ども劇場

Tel. 047-424-0851

◆ 八千代市1%支援制度対象事業

*人形劇鑑賞会「さるかに合戦」

~劇団員の火の公演~

6月26日(日) 開演14:00

場所:八千代市総合生涯学習プラザ

料金:2,000円(3歳以上)

*神田香織の立体講談「はだしのゲン」

7月9日(土) 開演14:00、18:30

場所:八千代市勝田台文化センター

料金:2,000円

*荒馬座「ぴーひゃらどん」

7月11日(月) 開演11:00

場所:八千代市勝田台文化センター

料金:おやこ一組で2,000円

主催/(特)子どもネット八千代

Tel. 047-486-4699

◆ 千葉県子ども核廃25年度記念公演

「子どもが少国民といわれたころ」

~銀次郎とハルの場~ 劇団風の子

5月14日(土) 開演14:00

場所:イオン稲毛文化ホール

料金:1,000円(大人)、高校生以下500円

主催/千葉県子どものための舞台芸術

関係者による核兵器廃絶を実現する会

申込先:(特)千葉中央おやこ劇場

Tel. 043-251-0142

◆ 山田とうし「パントマイムワークショップ」

6月5日(日)

主催/千葉西おやこ劇場

Tel. 043-272-1416

◆ 太宰久夫さん講演会

「子どもの心を癒す演劇鑑賞」

6月12日(日) 13:30~

場所:佐倉市美術館ホール

料金1,000円

主催/(特)佐倉こどもステーション

Tel. 043-487-1655

◆ 乳幼児とお母さんのほっとスペース

はっぴいスペース

5/19 6/2-16 7/7-21 10:00~12:00

場所:千葉北おやこみるあそび会近く

参加費:500円

主催/千葉北おやこみるあそび会

Tel. 043-241-1142

◆ 子育て応援メッセージinそでがうら

人形劇、よみきかせ、パネルシアター、

おもちゃ病院、ベビーマッサージetc

6月26日(日) 10:00~15:00

場所:袖ヶ浦市長浦公民館

参加費大人300円

主催/(特)子どもるーぶ袖ヶ浦

Tel. 0438-63-2850

◆ 演劇鑑賞会 劇団道化

「知覧・青春~アイ・アム・ヒア!~」

7月3日(日) 開演14:30

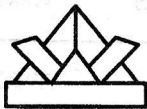
場所:四街道市文化センター大ホール

料金:大人3,000円子ども障がい者1,000円

問合せ/(特)四街道こどもネットワーク

Tel. 043-423-5381

※(特)は特定非営利活動法人を略しています
※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは
各主催団体をお願いします。



● 千葉県内子どもと舞台芸術・文化団体一覧

団体名	Tel.	団体名	Tel.
● NPO法人 野田子ども劇場	04-7124-8419	● NPO法人 子どもプラザ成田	0476-29-1387
● NPO法人 流山おやこ劇場	04-7152-0446	● 千葉西おやこ劇場	043-272-1416
● NPO法人 市川子ども文化ステーション	047-395-7670	● NPO法人 こどもユニットWakaba	043-255-1045
● NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区	047-332-3024	● 千葉北おやこみるあそび会	043-241-1142
● NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区	047-339-7744	● NPO法人 緑区子どもサポートセンター	043-295-4150
● NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区	047-395-7670	● NPO法人 千葉中央おやこ劇場	043-251-0142
● NPO法人 子どもとまつど	047-386-9154	● NPO法人 四街道こどもネットワーク	043-423-5381
● 浦安子ども劇場	080-6651-9175	● やちまたおやこ劇場	043-444-6462
● NPO法人 船橋子ども劇場	047-424-0851	● 長生茂原おやこ劇場	0475-22-3000
● NPO法人 ならしの子ども劇場	047-451-3676	● NPO法人 子どもるーぶ袖ヶ浦	0438-63-2850
● 鎌ヶ谷おやこ劇場	047-412-0234	● NPO法人 いちかわ市民文化ネットワーク	047-339-7809
● 白井子ども劇場	047-491-2163	● NPO法人 子育てネットワークゆっくっく	04-7129-8089
● NPO法人 NPO佐倉こどもステーション	043-487-1655	● NPO法人 里山会	047-482-4613
● NPO法人 子どもネット八千代	047-486-4699	● 千葉県子ども核廃	047-457-2065
● NPO法人 いんざい子ども劇場	0476-46-6287	● NPO法人 子ども劇場千葉県センター	043-301-7262